

ソフトウェアテストといえば

**SHIFT**

2018年8月期  
第1四半期  
決算説明会資料

株式会社SHIFT(証券コード:3697)

2018年 1月12日

1. 決算概要
2. 成長戦略の進捗
3. 今期計画および足元

# 1. 決算概要

### FY2018 事業方針

新たな成長戦略「SHIFT' 300」を定め、品質保証における専門企業として業界トッププレイヤーとの長期的パートナーシップ構築を推進、関係強化により、トップラインの成長と優秀な人材の獲得を加速する

## 1 前年同期比で約2倍成長を達成

前年同期の売上高1,363百万円に対して、94.9%増の2,657百万円で着地。確実な成長曲線を描く。(詳細はP.5、P.12以降「成長戦略の進捗」参照)

売上高 **2,657百万円**

前年同期比: 1.95倍

売上総利益 **779百万円**

前年同期比: 1.95倍

営業利益 **232百万円**

前年同期比: 10.0倍

### FY2018 1Q 動向

## 2 高利益率体質への改革

前期より取り組んでいる効率化・可視化などの社内業務体制の改善が今期もさらに進む。また、グループシナジー効果などにより子会社におけるグループ全体への利益貢献も顕著に現れる。

## 3 大型案件の増加

SHIFTの信頼度向上による既存顧客の受注規模拡大、認知度向上による新規大型顧客の獲得などにより、1Qにて年間売上規模1億円を超える顧客が6社増加。

# 1. 決算概要

前年同期比で約2倍成長を達成  
4Qからの利益率を維持しながら、「SHIFT' 300」に向け順調なスタート

単位：百万円	FY2018 1Q	FY2017 1Q	前年同期比	FY2017 4Q (会計期間)	前四半期比	FY2017 4Q (会計期間) ※	前四半期比 ※
売上高	<b>2,657</b>	1,363	94.9%	2,509	5.9%	2,413	10.1%
売上総利益	<b>779</b>	399	95.1%	738	5.5%	701	11.2%
売上総利益率	<b>29.3%</b>	29.3%	0.0pt	29.4%	△0.1pt	29.0%	0.3pt
販管費	<b>546</b>	376	45.2%	474	15.2%	457	19.5%
営業利益	<b>232</b>	23	903.2%	264	△12.0%	243	△4.5%
営業利益率	<b>8.8%</b>	1.7%	7.1pt	10.5%	△1.7pt	10.1%	△1.3pt
経常利益	<b>264</b>	37	605.5%	272	△3.0%	262	0.8%
税前利益	<b>264</b>	37	605.5%	272	△3.2%	262	0.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	<b>163</b>	9	1703.4%	153	6.8%	153	6.8%

※ FY2018 1Qと同様にSHIFT PLUSに対して持分法を適用した場合

# 1. 決算概要

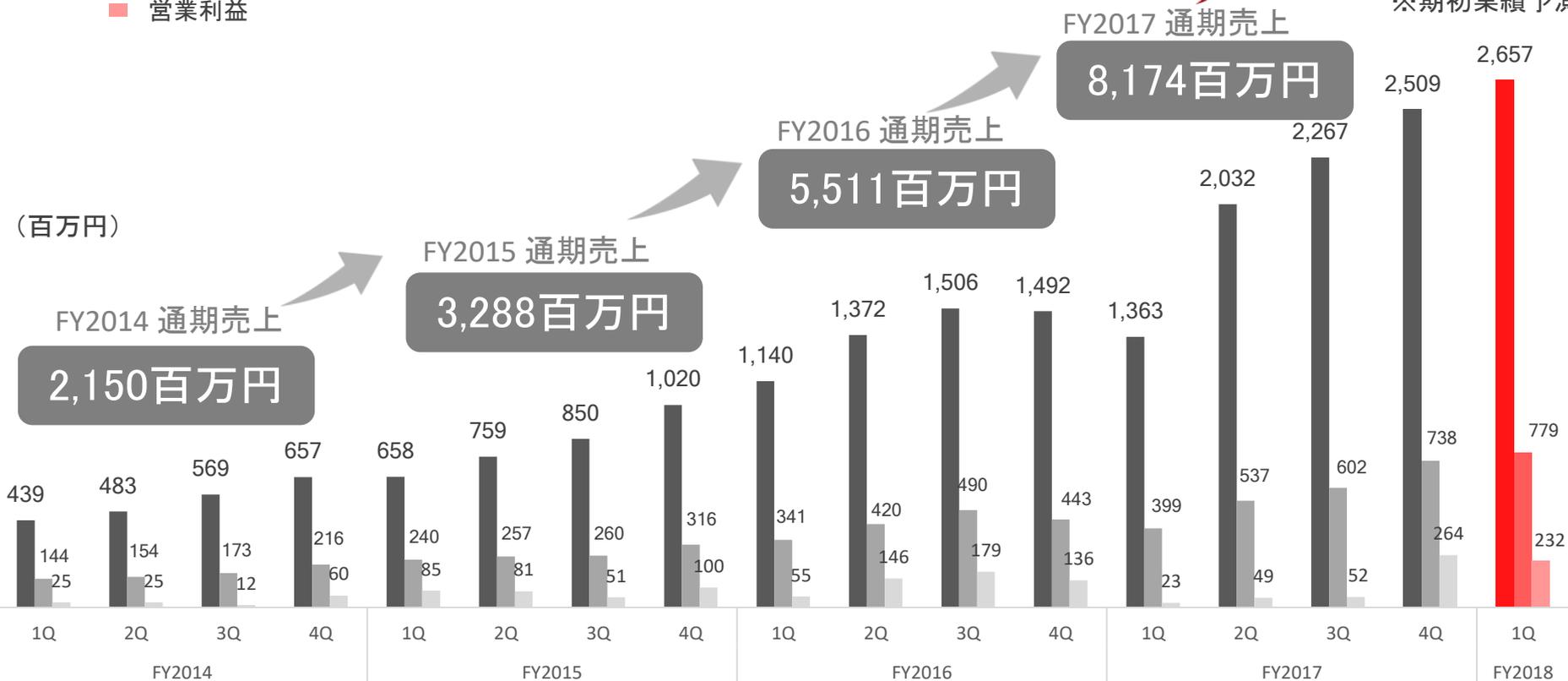
四半期売上高、売上総利益ともに過去最高値を更新  
 人材採用など戦略コストは引き続き積極投資を進める

FY2018 売上業績予測

**12,000百万円**

※期初業績予測

- 売上高
- 売上総利益
- 営業利益

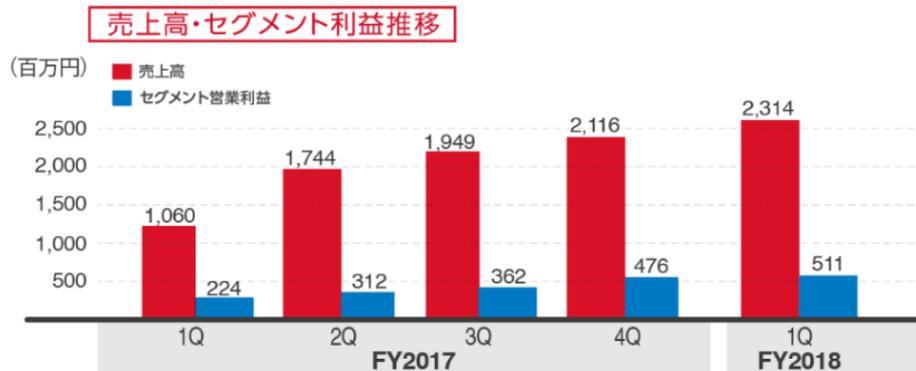


日本会計基準に基づき、連結業績を表記

# 1. 決算概要

エンタープライズは堅調な成長トレンドへ。エンターテインメントは、一時的減収と見えるが現状実力値は着実な成長曲線を推移

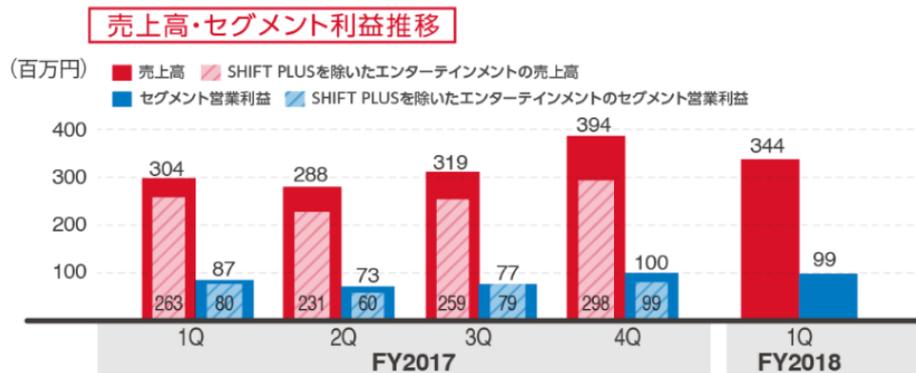
### エンタープライズ領域



#### 概況

- ・ハイスキル人材の活躍により、大規模顧客が順調に増加
- ・アジャイル開発に対応するサービス提供を開始  
顧客層を拡大
- ・グループ連携を進め、セキュリティ、オフショアも含めたサービス展開が本格化
- ・中部地方へ進出し営業網拡大

### エンターテインメント領域



#### 概況

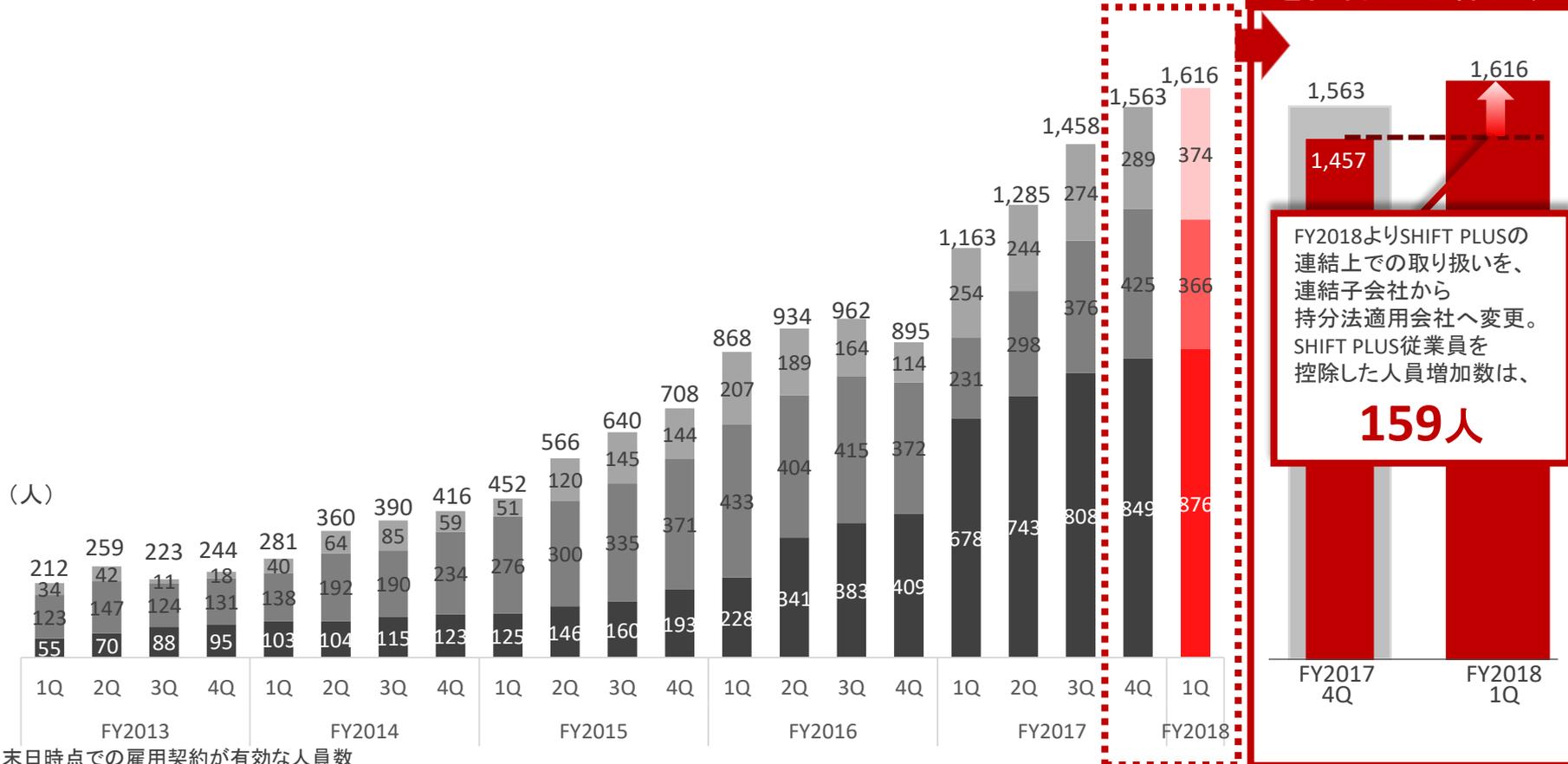
- ・今期より持分法適用会社へ変更したSHIFTPlus分が一時的に減収となるが、それ以外の実力値は堅調に成長
- ・顧客内シェア拡大により大規模顧客が増加  
SHIFTPlusのシェア拡大に向けた取り組みが進む
- ・更なる拡大に向け、関西地方へ進出し営業網拡大

# 1. 決算概要

## エンジニア数の推移

SHIFTサービス需要の拡大に伴い、ビジネスパートナー人材含め採用が促進

■ パートナー ■ エンジニア\_有期雇用 ■ エンジニア\_正社員



SHIFT PLUS分人数を控除した増加数

FY2018よりSHIFT PLUSの連結上での取り扱いを、連結子会社から持分法適用会社へ変更。SHIFT PLUS従業員を控除した人員増加数は、

**159人**

- ・ 末日時点での雇用契約が有効な人員数
- ・ 登録型アルバイトの人員は含まれておりません

# 1. 決算概要

### 引き続き、戦略的投資の大部分は人材採用

単位：百万円	FY2018 1Q	FY 2017 1Q			FY2017 4Q			備考
	実績	実績	増減額	前年同期比	実績	増減額	前四半期比	
人件費	<b>289</b>	200	84	43.9%	277	11	4.3%	採用人員の増加により、入社時研修（SGA負担）工数の増加
対売上高比	10.9%	14.7%	△3.8pt		11.1%	△0.2pt		
採用費	<b>100</b>	59	40	68.6%	62	38	62.2%	採用人員の増加
対売上高比	3.8%	4.4%	△0.6pt		2.5%	1.3pt		
地代家賃	<b>31</b>	11	20	175.4%	24	6	28.0%	
対売上高比	1.2%	0.8%	△0.4pt		1.0%	0.2pt		
支払報酬	<b>13</b>	35	△22	△63.7%	15	△2	△17.6%	
対売上高比	0.5%	2.6%	△2.1pt		0.6%	△0.1pt		
のれん償却費	<b>20</b>	5	15	267.3%	20	0	0.6%	
対売上高比	0.8%	0.4%	0.4pt		0.8%	0.0pt		
減価償却費	<b>6</b>	5	0	7.4%	6	△0	△6.2%	
対売上高比	0.2%	0.4%	△0.2pt		0.3%	△0.1pt		
その他	<b>85</b>	56	28	49.6%	67	17	26.8%	
対売上高比	3.2%	4.2%	△1.0pt		2.7%	0.5pt		
合計	<b>546</b>	376	170	45.2%	474	72	15.2%	
対売上高比	20.6%	27.6%	△7.0pt		18.9%	1.7pt		

# 1. 決算概要

更なる成長の加速、次のステージへのステップアップのための  
最適資本構成・資本戦略を追求

単位：百万円	FY2018 1Q	FY2017 1Q	前年同期比	FY2017 4Q	前四半期比	備考
流動資産	<b>3,579</b>	3,231	10.8%	3,405	5.1%	
うち現金及び預金	<b>2,016</b>	1,909	5.6%	1,977	2.0%	
有形固定資産	<b>235</b>	196	20.1%	239	△1.5%	
無形固定資産	<b>846</b>	910	△7.1%	857	△1.4%	
投資その他	<b>840</b>	584	43.6%	827	1.5%	
総資産	<b>5,501</b>	4,922	11.8%	5,330	3.2%	
流動負債	<b>1,675</b>	1,271	31.8%	1,501	11.6%	
固定負債	<b>1,605</b>	1,787	△10.2%	1,711	△6.2%	
自己資本	<b>2,087</b>	1,753	19.0%	1,924	8.5%	増収増益による自己資本の増強 36.1%⇒37.9%
新株予約権	<b>2</b>	1	41.1%	2	-	
非支配株主持分	<b>130</b>	108	20.3%	191	△31.6%	SHIFT PLUSの持分法適用会社化による

# 1. 決算概要

### 連結業績予想に関して、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益を上方修正

#### ■修正理由

- 売上高は堅調な受注環境、また前期より推進している金融・流通領域などでの顧客拡大が加速的に進む
- 人材獲得力の強化により、サービス需要に対する必要人材アセットの確保が堅調に進む
- 利益率は、高利益体質への改革とグループ経営の推進により、営業利益、経常利益、当期純利益が期初業績予想を上回る結果となる

#### 第2四半期 累計期間 連結業績

(単位: 百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	5,400	300	290	180	12.49
今回修正予想(B)	5,600	400	400	270	18.73
増減額(B-A)	200	100	110	90	-
増減率(%)	3.7	33.3	37.9	50.0	-

#### 通期 累計期間 連結業績

(単位: 百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	12,000	800	800	500	34.70
今回修正予想(B)	12,500	900	900	600	41.63
増減額(B-A)	500	100	100	100	-
増減率(%)	4.2	12.5	12.5	20.0	-

## 2. 成長戦略の進捗

## 2. 成長戦略の進捗

FY2018アクション

売上高300億円へ向けた成長戦略「SHIFT' 300」初年度となる今期は、グループ事業規模のさらなる加速的拡大のための礎を築く



※修正後業績予想

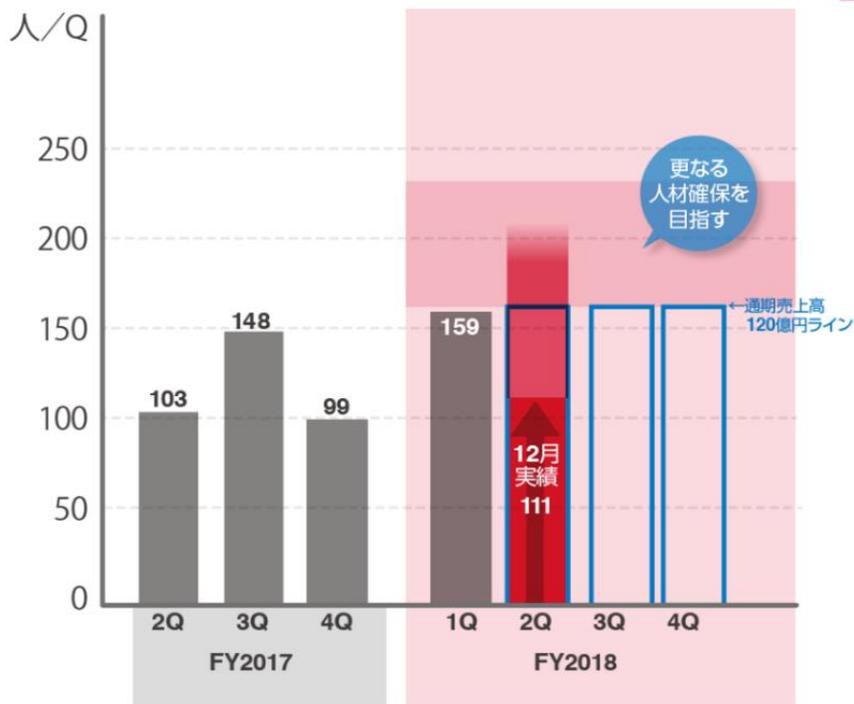
# 人材獲得能力の向上、ハイスキル人材の本格始動による 大型案件獲得力が向上

■対前四半期(2017年度末)  
2017年9月からの3か月で達成した成果



# FY2018業績予想に必要な人材確保力が見えてきた

### 四半期ごとのエンジニア増加数



●人材確保の主な施策 ▲人材採用体制の強化

▲若手・第二新卒採用

▲ハイスキル人材採用加速



### 人材確保力の強化に向けた追加施策

#### 1 大手SI企業、金融事業会社との人材交流

人材交流プログラムを企画し、2Qより順次受入が確定。テストに適性のある人材を受け入れることで、人材確保力の底上げに寄与していく



#### 2 他業種からの人材流入や、多様な働き方の受入

金融系事業会社の事務作業員など、非IT業界から、品質保証に素養のある人材を受入。また、時短やリモートワーク等の多様な「働き方」を整備することで、人材確保力を拡大していく



## 2. 成長戦略の進捗

大型案件増加

前期より推進していた主要クライアントとの関係強化による案件大規模化へ向けた取り組みの成果が今期1Qより表れる

### ■大規模顧客の推移 (年間売上規模1億円以上見込み)

対前Q + **6** 社

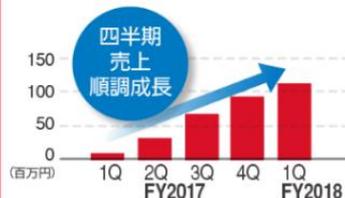
年間売上規模	1億円以上	4億円以上	7億円以上
増加社数	+4社	+2社	+0社

### 大手金融機関

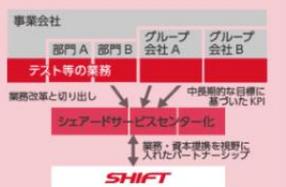
従業員:1万人以上規模

長期的パートナーシップを組み、中期計画で順調に拡大。テスト業務だけにとどまらず、シェアードサービスも視野に入れた関係強化を推進中。

当該顧客におけるSHIFT売上推移



長期的なパートナーシップ作り



### 大手流通系企業

売上:2,000億円超//時価総額:約1兆円

取引開始後、3か月で1億円以上の取引を実現。自動化を含め大規模な体制を構築し、関係強化を推進中。

当該顧客におけるSHIFT売上推移



+ 更に、大型案件受注に向け活動中

### 大手ネット企業

売上:1,000億円超//時価総額:約1兆円

100名体制規模の長期取引を獲得。SHIFT内に専用居室を作り、更なる関係強化を推進中。

当該顧客におけるSHIFT体制規模



顧客ニーズの拡大に伴い、大阪、名古屋拠点を新規立上げ  
人材確保力と営業力を共に増強し、サービスを展開

SHIFT 国内拠点

5 拠点

【増設】

2017年

10月 / 名古屋事業所

12月 / 大阪テストセンター

2018年

1月 / 東京テストセンター増床

札幌

大阪

東京

名古屋

福岡

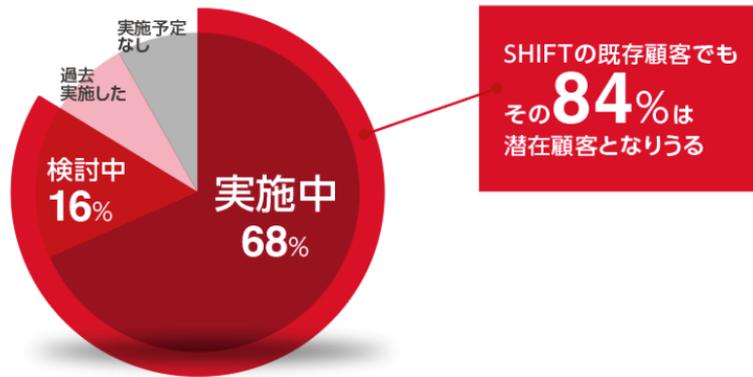
人材アセットの確保と密な顧客関係構築が、  
拠点拡大を促進する



IT開発スタイルのトレンドにいち早く対応し、アジャイル開発における品質保証サービスをリリース。売上1億円規模顧客も獲得

## アジャイル開発の状況

[SHIFT既存顧客向けアンケート]より 2017年SHIFT調べ

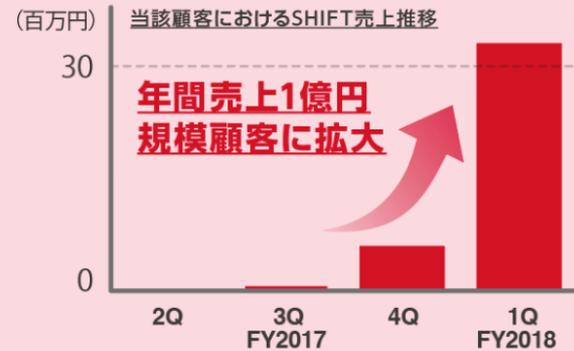


## 実績

既に売上1億円規模の顧客も1社獲得

### 導入事例:会計システム開発企業

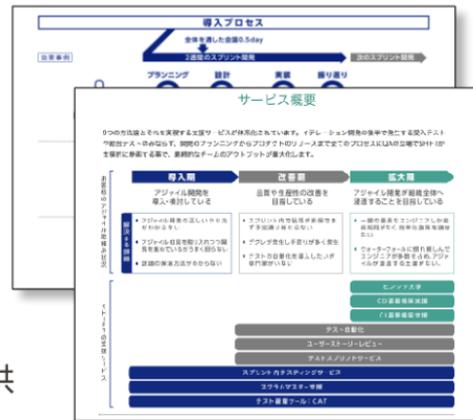
「事業拡大のため開発スピードは落としたいくないが、テストが追い付かず、品質も悪い。」  
アジャイル開発をしている1つの開発ラインに対してSHIFTのDevQAOpsサービスを展開。現在では全開発ラインに横展開中。



## サービス開発

**DevQAOps**  
ソリューションリリース

アジャイル開発に特化して、開発と運用の仲介に入り、サービス開発を成功に導く品質保証ソリューションを提供



# 認知度向上と、ブランド力強化へ向けたマーケティング活動を推進

### ■1Qに着手した主な例

#### CS (顧客満足) 活動

全既存顧客を対象に、専門部隊による調査を実施中

**38社 43** 部門訪問

(2018年 1月11日現在)



各社個別フィードバック、業界、案件規模ごとの状況、意見を集計・分析しサービス品質の向上へ連携

⇒既存顧客との関係強化

#### 経団連加入



⇒大手潜在顧客の発掘

#### 専門媒体での寄稿連載

掲載媒体 日経BP  
ITプロフェッショナル向け  
情報通信技術総合サイト「ITpro」



⇒マスへ向けた「SHIFT流」の展開

グループ会社もSHIFT単体同等レベルの売上成長を遂げ、利益面でも大きく貢献

### SHIFT SECURITY

WEB・アプリ系を中心に成長。さらに、今期はエンプラ市場へ領域を拡大

#### 売上成長推移



#### 累積顧客社数



### SHIFT ASIA

国内大手顧客のオフショア開発支援受注。プロジェクトの大型化が堅調に推移し売上増加

#### 売上成長推移



#### 顧客月額単価



### ALH

事業再編を進め規模を拡大。それにより付加価値を増大

#### 売上成長推移



#### 売上総利益率 向上<sup>※2</sup>



※2 BSGとLPの2017年4月事業再編直前四半期で合算した連結粗利率とALH単体のFY2018 1Qの粗利率の比較

※BSG:ハリストライドグループ  
LP:リベロプロジェクト

### メンドロジック

営業力強化、人員増加により、売上高アップ

#### 売上成長推移



#### 従業員数

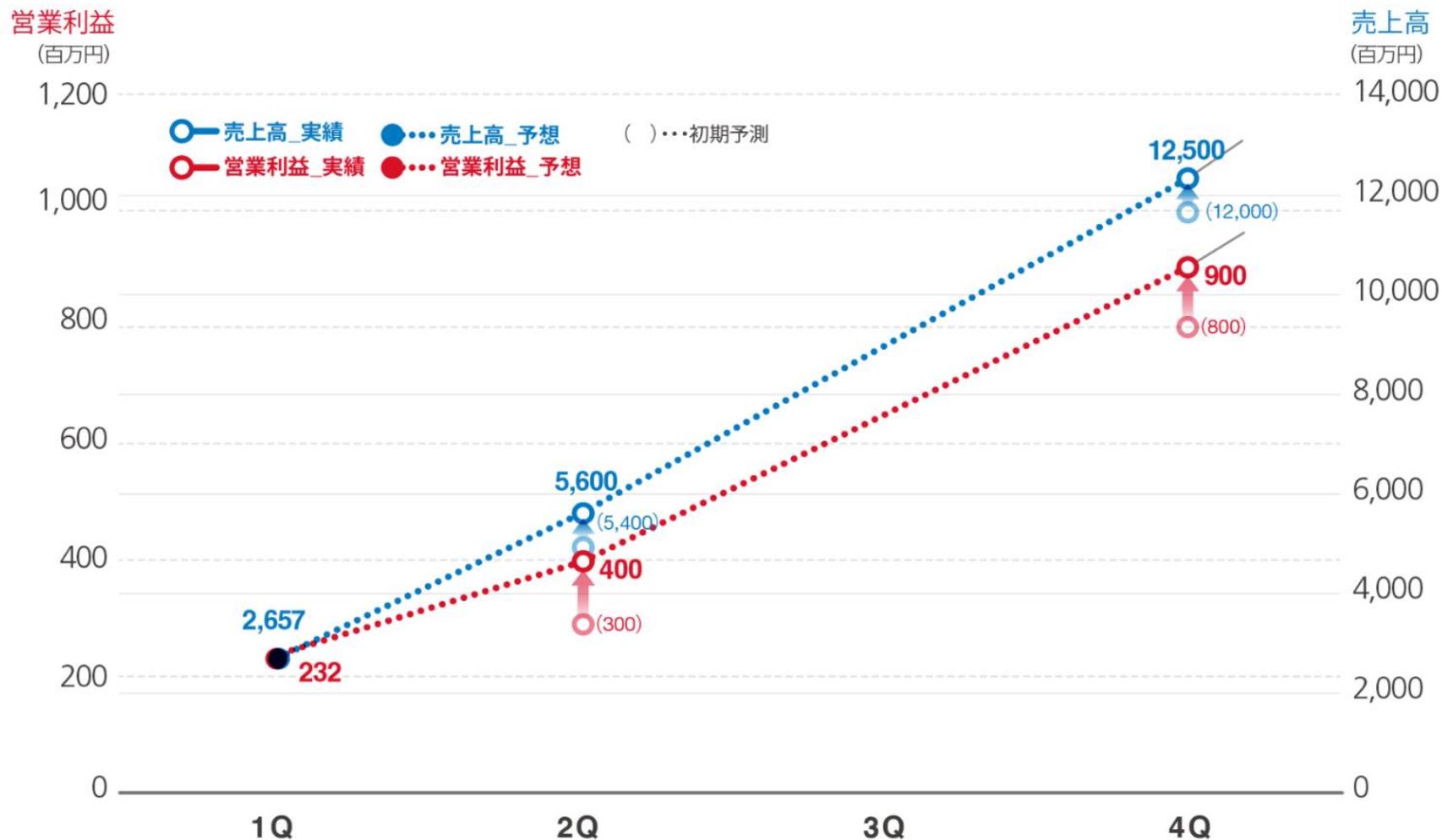


# 3. 今期計画および足元

### 3. 今期計画および足元

業績見通し

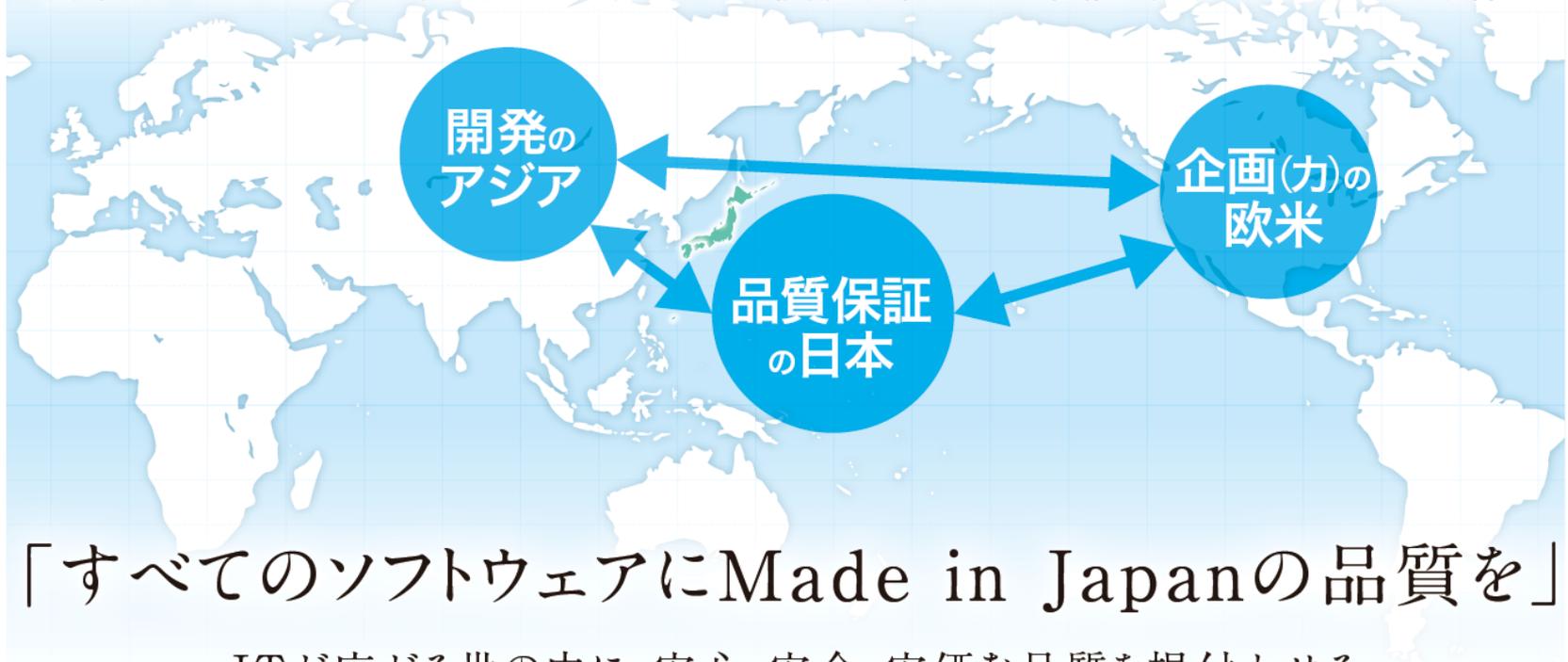
上期は、引き続き下期以降の成長へ向けた仕込みを継続  
下期に向けて、SHIFTがトップラインを牽引しながら全体の成長を実現



この産業が日本発、世界へ行く為に

## グローバルな分業が進む、ソフトウェアの製品開発。

“日本人”である我々が得意とする分野での価値提供による国際市場での拡大を目指す。



ITが広がる世の中に、安心・安全・安価な品質を根付かせる。

これがSHIFTの目指す未来です。

## 将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報や将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

株式会社SHIFT

<http://www.shiftinc.jp/>

■お問い合わせ

[ir\\_info@shiftinc.jp](mailto:ir_info@shiftinc.jp)